

マイウェイ

大森 海太

「マイウェイ」は私のご最親のフランク・シナトラ（1915-1998）のヒットソングで、もとはシャンソンだったのを、ポール・アンカ（1941-）がシナトラのために英語の歌詞を書いたものである。内容は様々な苦難を乗り越えて成功した男の生きざまを語るもので、シナトラの半生とオーバーラップしており、サワリの部分は次のとおりである。

I've lived a life that's full, I travelled each and every highway
And more, much more than this, I did it my way.

この歌の日本語の歌詞は日本風の「私が歩んできた道」というコンセプトで、「信じたこの道を私は行くだけ、すべては心の決めたままに」などとなっているが、私には異論がある。英語の“way”には「道」のほか「方法、やりかた」という意味があり、この場合は後者、受験英語流に言えば “in my way” のように解釈すべきものと考える。

従って上記の英語の歌詞を訳すとすれば、シナトラのちょっと崩したポーズをこめて、「(俺は今までいろんな困難に直面してきたが、それらをすべて乗り越えて) 満ち足りた人生を送り、素晴らしい道を歩んできた。でもそれよりも何よりも言いたいことは、すべて俺のやり方で(俺流で) やってきたことだ」ということになろうか。

さらに終りのほうで、いつも難しい問題にぶちあたったときには、

I faced it all and I stood tall, and did it my way

と歌っているのも「俺流」を裏付けている。もっとも way については、「道」と「やり方」の意味を掛け合わせている点も見逃せないが、いっぽう “highway” と “my way” や、“all” と “tall” が韻をふんでいることにも注目したい。

というわけで恥ずかしながらいささかウンチクを垂れましたが、この「マイウェイ」なら前半部分は覚えているので歌詞を見なくても歌える。ほかにもシナトラでは、「思い出のサンフランシスコ」とか「オールザウェイ」とか得意のナンバーがあるし、全然違うけど美空ひばりや石川さゆりも十八番だ。コロナ以来、久しくカラオケともご無沙汰ですが、たまにはどなたかお付き合いいただけませんか？